

同期の絆

—80周年記念祝賀会に参加して—

1993年卒 浅井 健

この度、創部80周年記念式典へ参加させていただき、同期の絆を復活させることができました。

私の同期は皆さんご存知の教官三田村宏明（以下ミッキー）とその奥さんの三田村（眞澤）綾子（以下 綾ちゃん）。北岡淳児（以下キッキー）、渡邊俊和（以下なべちゃん）、松山雅美（以下ダダ）の6名です。卒業してから数年は連絡とりあったり、会ったりしていたものの、転勤や結婚、子どもの誕生やらなんやらでそれぞれの生活が忙しく、ここ15年くらいは年賀状だけのやりとりになっていました。（ダダにいたっては年賀状もこなくなり、完全消息不明状態でした）。

私自身、航空部のホームページなどを通じてなんか大変そうだなあとと思うだけで、航空部との触れ合いもなくなっていたのですが、そんな中80周年記念祝賀会の案内をいただき、実行委員長がミッキー。場所が木曽川ということで、これは参加せねばと思いつつも今一步踏み出せずにいたところ、ミッキーから暑中見舞いとともに参加のお誘いを受け、はるか千葉から綾ちゃんも来るという事で、キッキーを誘い参加することにしました。ミッキーからなべちゃんにも半強制的(?)に出席要請がいき、音信不通のダダを除く平成5年卒同期5人、9月3日木曽川で私の結婚式以来、約17年振りの再会を果たすことができました。木曽川に来たのは卒業以来23年振りでしたが、宿舍も新しくなっており土手道も舗装され、今や、索点は100曳航に1回、紅白旗による合図も廃止ということで時代の変化を感じたものの、グライダーの飛ぶ姿そのものは昔と変わりなく懐かしく感じました。同期の面々は皆見た目はおじさんお婆さんになっているものの中身はみんな全然変わってなく、本当に楽しいひと時を過ごすことがで

きました。なんとかダダの消息をつかみたいと思っていたところ、前田教官がダダと同じT芝グループ勤務と知り、前田さんにダダの消息調査を依頼し、1W後にダダの消息を突き止め、連絡をとることに成功しました。（前田さんその節は本当にありがとうございました）。

航空部80年の歴史の中で、私が現役だった平成一桁時代は、本当に恵まれた時代であったと思います。数多くの苦勞・事件もありましたが、常に同志社単独で合宿を運営し、4年の時には北海道合宿を実現。全国大会にも2チーム出場を果たし、東海関西においては常に中心的な役割を果たすことができました。それは翔友会の支援、教官・先輩のご指導、優秀な後輩にも恵まれたのは勿論ですが、やはりミッキーを中心とした同期6人の結束力の力が大きかったと思います。今、久しぶりに航空部現役時代の写真を眺めると、当時の記憶がよみがえります。ランウェイの内外問わず、同期6人でとった写真が本当に多いのですが、その中でも大学3年の冬にとったこの写真は6人ともお気に入りの一枚です。

今6人でLINE交換し、グループを作って昔の思い出話や最近の近況など、ちょっとしたことを毎日おしゃべりしています。6人は全国に散らばっているけど、こういう形で新たな同期全員の絆ができたことは本当に嬉しく思うし、場を与えてくれた翔友会、実行委員長として奔走してくれたミッキーには本当に感謝です。

もう50才を目前にしたおっさんお婆ちゃんですが、また是非6人揃って、このポーズで写真とりたいなあ。

6人の同期 私の誇り



写真左から 松山、北岡、三田村（宏明）、浅井、渡邊、中央真中が三田村（眞澤）綾子。

17年振りの集合。上の写真から24年・・・



左から渡邊、北岡、浅井、三田村（眞澤）綾子、三田村